

ビタミンニュース



特集『子ども支援 ～子ども達は私達の未来～』

現代の日本は、格差社会で経済的に困窮する人の割合が年々高くなり、とくに子どもの貧困と孤立化が深刻な問題となっています。こころのビタミンでは、未来の宝である子ども達の成長に貢献できるよう活動を始めました。今回は子ども支援活動をしている3つの団体見学レポートをお届けします。



子ども達が未来に希望を持って 成長できるように貢献したい

栗原弘美(代表理事)

こころのビタミン研究所は、設立以来14年間バングラデシュの多目的センターを、そして11年前からはハイチの医療センターを支援してきました。一方で国内の活動はこころの勉強会、貢献を主とした英語教材づくりや石鹸プロジェクト、東日本大震災や熊本地震の際はセミナーやカウンセリングの実施など、その時々ニーズに合わせた活動をしています。

OSK(おせっかいクラブ)というビジョンを掲げ、困っている人に勇気を持って手を差し伸べるという意識の啓蒙にも努めてきました。そんな中で、今私達は次のステップとして、日本の子ども達の幸せと健康に目を向けていきたいと考え始めています。

日本は物質的に豊かな国とされていますが、貧富の差は年々開くばかり、経済的に困窮している

人の割合も高くなっています。中でも私達が憂っているのは、子どもの貧困と孤立化の問題です。

ご飯を十分に食べていない子、夜に親が働いていて一人でご飯を食べている子、親が奨学金で高校に行かせていたことを後で知り、就職したものの返済が肩にのしかかっている子など、大人がよく見ていないとわかりにくい形での貧困や子育ての問題が増えているように感じます。

このような問題はすでにメディアでも取り上げられ、子ども食堂や学習支援などに取り組んでいる地域やボランティア団体、個人の方もたくさんいらっしゃいます。私達はそういうところに寄付をし、出向いてお話を伺い、こころのビタミンとして何ができるのかを模索中です。

子ども達は私達のかげがえない宝です。子ども達が愛されている、自分には価値があると感じ、未来に希望を持って成長できるように貢献したいと思うのです。どうか皆さんの慈愛や知恵をお貸しください。2017年もこころのビタミン研究所をよろしく願いいたします。



【渋谷区】ピアサポートネットしぶや

レポーター 島倉潤子・湯田佐恵子(理事)

引きこもり・フリーター・ニートなどの問題を抱える若者が、再び社会とつながり生きていけるよう支援している「NPO法人ピアサポートネットしぶや」は、虐待防止の地域ネットワーク「渋谷ピアネット」を通じて、現在渋谷区内に6ヶ所の子ども食堂を開設しています。今回は渋谷・初台駅から徒歩1分のところにある『ずっとも食堂初台ガイラ』にお邪魔しました。

ずっとも食堂では月1回、地元の小中高生を対象に食事付き夜の居場所と学習支援をおこなっています。夕食は手作り味が魅力です。この日は

たまたま民間の会社が、新たな子ども食堂立ち上げを検討をするため相談に来ていました。

渋谷区では、核家族や共働きの多く、「保護者の孤立、子どもの孤立」が増加傾向にあります。ピアサポートネットしぶやは、法人設立以前から区内で放課後の居場所づくりをおこなっていましたが、夜の居場所の必要性を感じ、子どもの足で行ける範囲に活動拠点を設けて、中学校区単位で10ヶ所に広げていきたいと検討しています。

